

## 2022年（令和4年）の日本の天候

2022年（令和4年）の日本の天候は、年平均気温は全国的に高く、特に北日本でかなり高くなりました。2021年12月～2022年2月は東・西日本では低温となり、日本海側を中心に大雪となりました。8月は北・東日本で不順な天候となりました。

2022年（令和4年）の日本の天候の特徴は以下のとおりです。

○年平均気温は全国的に高く、特に北日本でかなり高くなりました  
春から秋にかけて全国的に気温の高い状態が続き、低温は一時的だったため、年平均気温は全国的に高く、特に北日本でかなり高くなりました。高温が顕著だった6月下旬には東・西日本で、7月上旬には北日本で、1946年の統計開始以降、当該旬として1位の記録的な高温となりました。

○2021年12月～2022年2月は東・西日本では低温となり、日本海側を中心に大雪となりました  
2021年12月下旬以降、日本付近に強い寒気が流れ込むことが多かったため、北日本から西日本の日本海側を中心にしばしば大雪となりました。冬の最深積雪は新潟県津南で419cmを記録するなど、全国331地点中12地点で記録を更新しました。気温は12月下旬以降、東・西日本を中心に平年を下回る傾向が続き、東・西日本では寒冬となりました。

○8月は北・東日本で不順な天候となりました  
8月は梅雨前線や湿った空気の影響を受け北・東日本で不順な天候となりました。東北北部・南部と北陸地方では梅雨明けが特定できませんでした。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:2.61MB]

[https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko2022\\_besshi.pdf](https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko2022_besshi.pdf)

問合せ先：大気海洋部 観測整備計画課 担当 村井（観測値や記録について）  
電話 03-6758-3900（内線 4268）  
大気海洋部 気候情報課 担当 榎田（天候の解説について）  
電話 03-6758-3900（内線 4546）